



毎週火曜日発行

# 【週刊タバコの正体】 2011/09-2012/03

和歌山工業高校 奥田恭久

URL: [http://www.jascs.jp/truth\\_of\\_tobacco/truth\\_of\\_tobacco\\_2011.html](http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_2011.html)

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。  
 ※一話ごとにひとつのpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。  
 ※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。



## ■週刊タバコの正体 Vol. 20 (2011/09-2011/12)

- (No. 265) 第1話 アンケート結果
- (No. 266) 第2話 煙にまみれた人生
- (No. 267) 第3話 タバコを吸わなければいいだけで
- (No. 268) 第4話 警告
- (No. 269) 第5話 最初の一本
- (No. 270) 第6話 「なんの言われもないのに」
- (No. 271) 第7話 タバコの粒子とサードハンドスモーク
- (No. 272) 第8話 タバコは部屋も汚す
- (No. 273) 第9話 黄金色の稲穂
- (No. 274) 第10話 トイレの神様
- (No. 275) 第11話 おにぎり3個分
- (No. 276) 第12話 ワーキングブア
- (No. 277) 第13話 ユニセフ
- (No. 278) 第14話 50年後の落とし穴
- (No. 279) 第15話 和工の未来は明るい
- (No. 280) 第16話 しっかりしな一よ、日本
- (No. 281) 第17話 バリアフリーとスモークフリー

## ■週刊タバコの正体 Vol. 21 (2012/01-2012/03)

- (No. 282) 第1話 まけるな!! 和歌山
- (No. 283) 第2話 肺がん死亡率30倍
- (No. 284) 第3話 悪性腫瘍
- (No. 285) 第4話 何のために吸ってたのか
- (No. 286) 第5話 そう遠くない
- (No. 287) 第6話 誇らしいふる里
- (No. 288) 第7話 タバコの経済収支
- (No. 289) 第8話 タバコの罨
- (No. 290) 第9話 天が与えた試練
- (No. 291) 第10話 タバコの火
- (No. 292) 第11話 タバコと謹慎

## SERIAL NUMBER 265 第1話 週刊 タバコの正体

まだ8月で“暑い夏”は当分続きますが、みなさんの夏休みは終わりました。気持ちを切り替えて2学期の授業に取り組んで下さい。タバコの勉強も再開しますが、まずは1学期に答えてもらったアンケートの結果を紹介します。

君たちのうちの二人に一人は「タバコを吸うのは、かっこ悪い」と思っています。そして、4人に3人が「一生、タバコは吸わないつもりです」。さらに、「学校でタバコの煙を見ても平気」な人より、「学校でタバコを吸う人はなくなる」と感じている人のほうが多くなっています。

和工は新校舎とともに「クリーンな学校」に変わっています。

今回の回答数	今週11/6 (9%)	前週10/6 (6%)	
1 548	タバコを吸うのは、かっこ悪い	50	49
2 107	タバコを吸うのは、かっこいい	10	10
3 976	タバコを吸うのは、自分にもまわりの人にも有害だ	68	90
4 72	タバコを吸うのは、本人の勝手でも誰にも迷惑かけない	7	6
5 850	一生、タバコは吸わないつもり	77	75
6 58	大人になったら、タバコを吸うつもり	5	7
7 551	友達かタバコを吸うのは、イヤだ	47	52
8 348	友達かタバコを吸っても、平気だ	32	31
9 515	先生かタバコを吸うのは、イヤだ	47	46
10 351	先生かタバコを吸っても、平気だ	32	34
11 687	家族かタバコを吸うのは、イヤだ	60	63
12 272	家族かタバコを吸っても、平気だ	25	24
13 878	タバコを吸うと、ガンになる	80	84
14 40	タバコを吸っても、ガンにならない	4	3
15 130	タバコの煙は、臭い	12	13
16 851	タバコの煙は、高い	77	74
17 712	学校でタバコを吸ってほしくない	65	63
18 187	学校でタバコの煙を吸っても、平気だ	17	18
19 208	そのうち、学校でタバコを吸う人はなくなる	19	16
20 635	永久に、学校からタバコを吸う人はなくなる	58	61

総数 1104



産業デザイン科 奥田 恭久

## 第1話 Serial number 282 週刊 タバコの正体

新年、明けましておめでとございます。2週間ほどの短い冬休みでしたが、大晦日やお正月を挟んだので一年を振り返り、歳暮の積み重ねを感じた人もいたでしょう。そう思うと、こうして新しい年を迎えられた事に改めて感謝し、昨年の災害を乗り越え、みんなで頑張る活気ある明るい一年にしたいものです。

さて、下の図は、国立がん研究センターが毎年発表している「がん統計都道府県比較 75歳未満年齢調整死亡率」のグラフです。16年前(1995年)から確実に死亡率は減ってきていますが、和歌山県の死亡率は、一番少ない県より10万人あたり30人も多く、常に全国ワースト10に入っています。人口100万人あたりになると300人もがんで亡くなる人が多いという事です。



なぜ多いのか、原因は特定できませんが、いつまでもこんな不名誉な状態では、やっぱり元気が出ません。せめて、がんの発症に大いに関係があるタバコはやめるべきだと思いますか。

大先輩からの遺言に向け、全県で「まけるな!! 和歌山」を合言葉に頑張らなければならない今年こそ、タバコなんか吸ってるとは思いません。



産業デザイン科 奥田 恭久